

ともに・・・

R8. 4. 22 文責校長

自ら気づき 考え挑戦し、ともに高め合う
北杵築っ子の育成

立派に仲間入りができました ～入学式～

4月13日（月）、やわらかな春の日差しが花曇りの空から照らす中、新入生3名を迎えて今年度の入学式を挙行いたしました。

式では、温かい拍手の中、6年生と手をつなぎ、新入生が体育館に入場です。

私の式辞で、人数も3名であることから、一人一人の名前を呼ぶと、「はい」と明るい返事が返ってきます。そして、「いつでもどこでもだれとでも大きな声であいさつをすること」「先生の目を見てお話をしっかり聞くこと」「夜は早く寝ること」の3つのお願いをすると、軽くうなずいています。

上級生を代表して、2年生がお迎えの言葉を伝えました。2年生が新入生一人一人の名前を呼ぶと、やはりここでも、「はい！」と元気な声でみんな返事を返し、「よろしくおねがいします！」と、上級生にしっかり伝えることができました。初めての場でちょっぴり緊張もあった中、新入生3名の姿は、大変すばらしいもので、立派な仲間入りができました。

式後、教室に戻った新入生。緊張がほぐれ、笑顔を見せていました。担任となった後藤匠先生が、「先生の好きなものはどっちでしょう」というクイズを新入生に出すなどし、和やかな雰囲気の中、この日を終わりました。

新入生は、当面連休明けまでは、特別に編成したスタートカリキュラムの計画で学校生活を送ることとなります。



「校長先生、何か手伝うことはありませんか？」

入学式を控えた金曜日のこと。式に向け、清掃をはじめ、式で飾るためのパンジーの花がら摘みや運搬、体育館や教室の装飾を、2年生以上の子どもたちと教職員が力を合わせて行いました。



私も一緒にステージ装飾の準備をしていた時のことです。自分の仕事に目途がついた新4年生が、「校長先生、何か手伝うことはありませんか」と声をかけてくれたのです。私の様子を見て、困っていることがあるのではないかと考えたようです。

私の様子に気づき、考え、行動しようとするこの4年生の姿は、まさに今年度本校がめざす学校教育目標の姿であり、このような可能性を秘めた北杵築っ子がいることを、大変誇らしく思います。

学校生活がスタート ～〇〇名人の誕生～

入学式の翌日、3名の1年生は、元気に登校してきました。前日の入学式とは異なり、表情も柔らかで、リラックスできているようで、安心しました。

この日からいよいよ勉強が始まります。しかし、子どもたちがこれまで毎日過ごしてきたことも園と、大きな環境変化が生じないように、はじめは、子どもたちが学校生活に慣れていくことを重視したスタートカリキュラムのもと、徐々に国語や算数の学習に入っていくようにしています。

この日の2時間目、私は、後藤先生と一緒に1年生とお勉強をしました。内容は、“おはなしのききかた” “へんじのしかた” “はなしかた” の3点です。

“おはなしのききかた” では、話す人の目を見て話す人の話がおわるまでだまってお話を聞くことを、“へんじのしかた” では、「はい！」としっかり返事することを、“はなしかた” では、授業中や大人と話すときには、「～です」と丁寧に話すことを伝えました。

私がお話していると、途中で発言しそうになる子どももいます。しかし、お話の聞き方で、人の話は最後まで聞こうとの約束のため、そこはぐっと我慢の1年生。話し終えるまで静かにお話を聞こうとしています。「お話の聞き方名人！」と私から褒められて、笑顔を見せています。

さらに、「〇〇さん」と私から名前を呼ばれて、「はい！」と元気よく返事もできました。「お返事名人！」とまたまた褒められた1年生です。

このように、お話の聞き方・話し方・返事の仕方それぞれ名人のタイトルが毎日更新されていくことでしょう。